

子どもがピアノでしあわせになる方法

大崎 万智子

まえがき

「○○ちゃん、この記号（リピート）はどういう意味？」

「うーうーんとなあ、えーうーとなあ……あつわかった！『巻き戻し！』」

「ちっ……ちやうがなあ。『くりかえし』やんかあ」

こてこての大阪弁丸出しの私のピアノレッスン。

こどもたちの珍解答に爆笑しながら「なんてしあわせなんだろう」と思う。

そして私の人生、何度音楽に助けられたかわからない。

ここに来てくれているこの子たちも将来、人生で必ずつまづく日がやってくる。

そんな時、音楽があればきつと音楽が救ってくれる。

才能なんてなくても大丈夫だ。

ただピアノを習い続ければよい。

そうすれば、人生でつまずいた時にきつと音楽の神様が助けてくれる。

ピアノの先生に国家資格はない。

ずっと習い続けていれば、やがてピアノを教えることができるようになる。

この子が将来、もしかして就職に失敗したり……もしかしてバツイチになったりしたとしても、ピアノを教えれば自分1人くらいなら食べていける。

生きていける。しあわせになれる。

と……ここまでは生徒さんのお母さんに話さないけれど、私はいつもそう思ってレッスンしている。

今、子育て真っ最中の新米ママさん、大丈夫！

あなたのお子さんはしあわせになれる！